

所長の部屋



所長のひとことアドバイス

食道癌の検査と治療

[2016年9月]

前回までは食道癌の予防について、飲酒と喫煙、逆流性食道炎の予防について書きました。今回は検査と治療についてです。

食道癌を早期に発見するには、胃カメラ検査(正式には上部消化管内視鏡検査)が最も有用です。なるべく専門の先生に、出来れば日本消化器内視鏡学会専門医の資格のある先生に、検査をしてもらいましょう。食道癌をごく早期に発見するのは難しいからです。

食道癌も他の癌と同様、いや他の癌以上に、早期発見が重要です。それは食道癌の治療法を知るとよく分かります。食道癌の治療は主に、早く見つかった順に①内視鏡下での切除、②外科的な手術、③抗癌剤やステントによる治療、の3つが行われています。①の治療では皮膚を切開することもなく癌の切除が可能で、安全性は②よりずっと高く、治療効果も②と同じかそれ以上です。少し進行した癌には②の治療をしますが、食道癌では胸部と共に腹部の切開も必要となります。これは食物の通り道を食道に代わって胃や腸で作らなくてはならないためで、胃や腸の癌より大がかりな手術となりがちです。③の治療は遠隔転移のある場合などに行われます。

食道癌の早期発見のため、特に飲酒や喫煙の習慣のある方は、毎年胃カメラ検査を受けましょう。